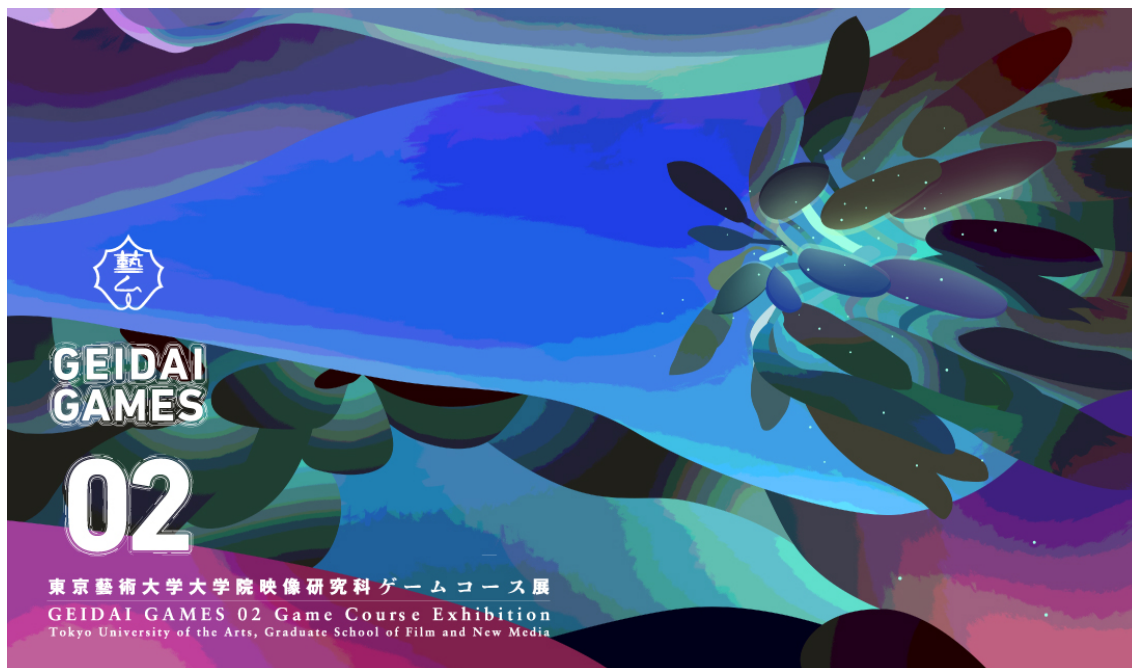




「GEIDAI GAMES 02 東京藝術大学大学院映像研究科ゲームコース展」

開催のお知らせ

2019年4月にゲームコースが正式に発足し、この度、初めての修了生を送り出すことになりました。その修了作品を中心とした、ゲームコースの成果発表展覧会「**GEIDAI GAMES 02 東京藝術大学大学院映像研究科ゲームコース展**」を開催します。展覧会では、ゲームコース一期生の「修了制作」、二期生の「年次制作」、USC インタラクティブ・メディア&ゲーム学科学生との共同プロジェクト「東京藝大×USC 共同制作」の中間発表などを発表します。会期中には、公開講評会やゲーム実況者によるゲーム体験の様子の映像配信も予定しています。展覧会はオンラインでの配信を中心に行いますが、ヘッドマウントディスプレイなどの機器を使用するVR作品は、リアル展示でも発表いたします。ゲームコース学生の「修了制作」「年次制作」については、産学協同の試みとして、株式会社スクウェア・エニックスのプロデューサー時田貴司氏が参加し、メンターとして制作アドバイスを行いました。

アクセスURL：<https://games.geidai.ac.jp/02/>

2021年3月19日(金)より（初日はAM11時OPEN）

VR作品展示会場 東京藝術大学上野校地 Art & Science LAB. 4F(要予約)

*観覧無料・リアル展示は要予約

*展示作品および配信イベント等は裏面を参照ください。

主催：東京藝術大学大学院映像研究科

協力：東京藝術大学 COI 拠点 南カリフォルニア大学映画芸術学部

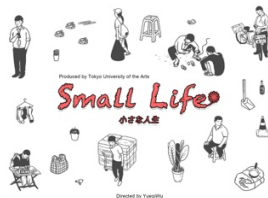
株式会社スクウェア・エニックス 株式会社 Luminous Productions

横浜市文化観光局

藝大 x USC 共同制作について

2018 年度に、文部科学省「大学の世界展開力強化事業(COIL 型教育を活用した米国等との大学間交流形成支援)」に採択され、全米トップのゲーム教育機関を誇る南カリフォルニア大学(USC)映画芸術学部インタラクティブ・メディア&ゲーム学科と本学双方のゲーム教育水準を高めるために、学生・教員による様々な交流プログラムを行っています。今年度は、USC 教授によるオンラインでの演習授業が行われました。また今年の 1 月からは共同制作がオンラインで開始され、5 月の USC GAMES EXPO に向けて、藝大生と USC 生のコラボレーションによるゲーム制作が行われています。

東京藝術大学大学院映像研究科ゲームコース「修了制作」、「年次制作」



「Small Life」

呉ゲツキ [M2]



「WANDARA」

宮本瑛未 [M2]



「It's a Wonderful New Day」

李 沐陽 [M2]



「YOU」

許 哲欣 [M1]



「Can I see You now?」

林 裕人 [M1]



「親愛なるウイルスたちへ」

王 俊捷 [M1]

上記に加え、リアル展示での VR 作品や産業界との共同制作、「東京藝大×USC 共同制作」の中間発表などを含め、合計 17 作品を展示予定です。

ストーリーミング番組

本展覧会の会期中に、ゲーム実況者による展示作品のプレイ実況、公開講評会などを配信します。

3 月 19 日 (金) -----

●10:00~11:30 | ライブ、一般公開、サポート通訳あり

「東京藝大×USC 共同制作」5 作品中間発表&参加学生と教員によるトークセッション

モデレータ：アンドレアス・クラッキー (USC 教授) / 通訳：江口麻子 (東京藝術大学大学院映像研究科特任准教授)

●11:30~12:30 | 一般公開、英語プログラム

USC 教授による東京藝大ゲームコース修了「修了制作」「年次制作」6 作品の実況講評会

講評者：アンドレアス・クラッキー (USC 教授) & ピーター・プリンソン (USC 教授)

●17:00~18:00 |

関係者内覧会 コンダクター：牧奈歩美 (東京藝術大学大学院映像研究科講師)

3 月 20 日 (土) -----

●10:00~12:00 | ライブ、一般公開、英語プログラム

全米の人気ストリーマー ショーン・プロット氏による実況

●14:00~16:00 | ライブ、一般公開

東京藝大ゲームコース「修了制作」「年次制作」外部講師による講評会

中川大地 (ゲーム概論) / 小野憲史 (ゲーム概論) / 待場勝利 (ゲーム概論) / 時田貴司 (メンター)

●16:00~18:00 | 一般公開

インディ・ゲームストリーマー LayerQ 氏による実況

3 月 21 日 (日) -----

上記イベントの再放送を行います。

※なお、番組内容は変更する場合があります。最新情報については展覧会ウェブサイト (<https://games.geidai.ac.jp/02/>) をご確認ください。

ストーリーミング番組出演者プロフィール

アンドレアス・クラッキー

南カリフォルニア大学映画表現学部ゲーム&インタラクティブ学科教授

ピーター・ブリンソン

南カリフォルニア大学映画表現学部ゲーム&インタラクティブ学科教授

ショーン・プロット (Sean [Day9] Plott)

ゲーム界では Day[9] としても知られるショーン・プロットは、ゲーミング、e スポーツ、そしてゲーマーライフのエバンジェリストであり、配信する動画の視聴数は毎月 400 万回を超える。YouTube センセーションを起こした自伝的特集番組「My Life of StarCraft」は現在までに 380 万回以上再生されていて、楽しめる内容でありながらもゲーミングを的確に弁護したものとして高く評価されている。



中川大地 (ゲーム概論講師)

評論家・編集者／批評誌「PLANETS」副編集長

小野憲史 (ゲーム概論講師)

ゲーム教育ジャーナリスト／東京国際工科専門職大学講師

待場勝利 (ゲーム概論講師)

XR コンテンツプロデューサー

時田貴司 (ゲームコースメンター)

株式会社スクウェア・エニックス

第2開発事業本部ディビジョン6 プロデューサー

1984 年から演劇活動のアルバイトとしてゲーム制作に参加。デザイナー、プランナー、ディレクターを経て現在はプロデューサーとして従事。代表作は FINAL FANTASY IV、LIVE A LIVE、クロノ・トリガー、半熟英雄シリーズ、ナナシノゲムなど。



LayerQ (れいやーきゅう)

YouTube で活動するインディ・ゲームストリーマー。

海外のユニークなタイトルをファンに向けて紹介する動画制作や、海外ゲーム会社の日本向けサポートを行う「架け橋ゲームズ」での PR に携わっている。



取材申込先

東京藝術大学 大学院映像研究科 アニメーション専攻 担当：牧、松本

〈電話〉 045-227-6041 〈E-mail〉 anim_contact@ml.geidai.ac.jp